

「にいがた酒の陣2024」盛況

2日間で1万6000名が来場



新潟県知事、中原 八一新潟市長。本紙らの取材に対し、実行委員長長の齋藤俊太郎氏(麒麟山酒造)は「にいがた酒の陣」の意義について、「新潟は国内清酒業界をけん引してきた。酒の陣は新潟清酒の魅力を強く大きく発信するために大

9日のオープニングセレモニーの席上、主催者代表の大平俊治会長(緑川酒造)は「1月1日に能登半島地震が起き、能登の人達が大変な状況にある。酒の陣も開催できるか懸念された。新潟でも中越地震や中越沖地震を経験し、その大変さは身に染みている。早い復興を願っている」などあいさつ。来賓は花角英世新

【新潟】「にいがた酒の陣2024」が9日10日に朱鷺メッセ(新潟市・万代島)で開催された。今年で20周年。チケット制、午前・午後の全4回、各回4000名限定で完売。主催はにいがた酒の陣実行委員会(新潟県酒造協同組合・新潟県酒造組合・新潟市)。出展酒蔵は78蔵。



越後桜 大吟醸原酒



菊水ふなぐち大吟醸

切ないイベントだ。コロナ前には来場者が10万人を超えるまでに広がった。淡麗辛口のなかにもバラエティに富んだ酒があるので、幅広い魅力をもっと伝えていきたい」などと語った。

【各蔵とも多様な提案】 菊水酒造は「菊水ふなぐち」の発売50周年を記念した「菊水大吟醸生原酒ふなぐち」を初披露。越後桜酒造は数量限定で「白鳥蔵大吟醸原酒」(令和6年全国新酒鑑評会出品酒)を提



齋藤実行委員長

供。石本酒造は新潟県内で限定流通している「亀田郷大江山産」や「新梅酒」が人気。麒麟山酒造は蔵限定酒「麒麟山歌枕R5BY純米大吟醸」を先行お披露



吉乃川 カヨイ



麒麟山 歌枕

目。大吟醸「KAGAYA KI」に匹敵する味わい。八海醸造は新たな取り組み「唎酒(りしゅ)」の3種飲み比べを提案(有料試飲)。年ごとに酒質テーマを決めて仕込む酒。今回は「ハルジオン」「ヤマユリ202



八海醸造 唎酒



石本酒造 亀田郷大江山産

吉乃川は専用ステンレスボトルでおかわりできる

いしば 愛されて 33年



3「ツツジ」。

サーピス「カヨイ」で提供する醸蔵限定酒「大吟醸無濾過原酒」をアピール。朝日酒造は「久保田」や「朝日山」など6種をラインアップし、3種の飲み比べを提供。中でも人気は「久保田 萬寿 無濾過生原酒」。長蛇の列となり、20分待ちの時間帯も。白瀧酒造は「キウイ由来酵母 by Jozen 純米」が人気。弥彦酒造は清酒が必ず当たる「弥彦SAKEガチャ」(1回400円・5種)などユニークな試み。

このほか、実行委員会は20周年記念の新規イベントとして、「にいがた酒の陣(二次会)」(9月31日)も実施。「にいがた酒の陣」公認の「押し100店」で使えるクーポンを配布し、イベント後にも新潟清酒を楽しめるよう需要を喚起した。